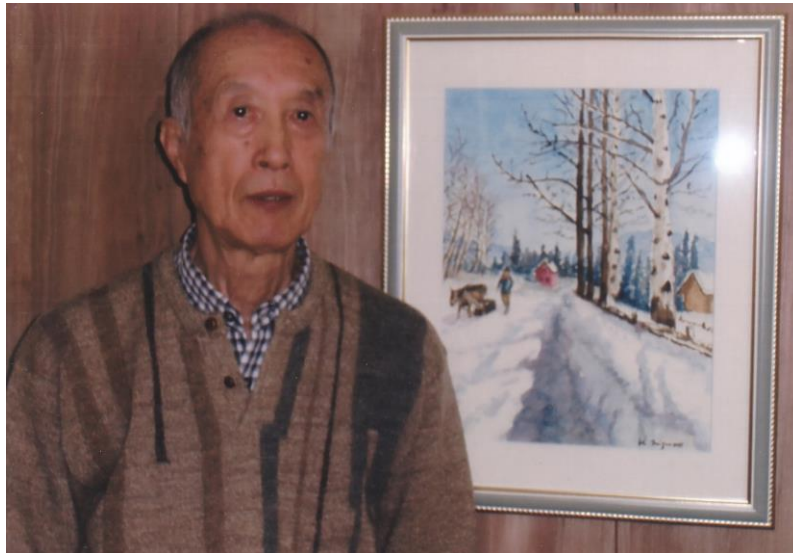


コロナ禍で1月に予定していた新年総会が開催できなかったため、今年も米寿・喜寿の方々にはお祝いを郵送いたしました。水野勝己様、青山明雄様より喜寿を迎えられた近況が届いております。



喜寿を迎えて

水野勝己

先日は、喜寿祝いを頂きましてありがとうございました。

退職して早や17年を過ぎました。退職後は色々してみたいことがありましたが・・・？
人は誰もが平等に歳を重ねて老人になる宿命です。いずれその仲間入りは必至です。

そこで老人の世界を覗いて見ようと思い、老人介護の仕事を選択し、有料老人ホームでの仕事に就きました。
身体機能の低下、正常な精神衰退等、人間がより長寿になったことの反面 老後の安住が阻害され苦痛な生活を強いられる方々を見てきました。
ここでの経験が老人の生活容態の全てだと思いませんが貴重な体験が出来たと思っております。

今や、人生100年時代と言われ身体、精神の両方が緩やかに衰えることをを望み、生老病死即ち生まれ、老い、病み、死すを完遂したいと思っております。まだまだ先のことと思っておりましたが今まさにその真っ只中にいますが少しでも健康年齢をのばしたい・・・！ そんなおもいで私は水彩画、太極拳、ウォーキングの実行で身体能力の維持、精神疾患の防止に日々努めて過ごそうと思っております。

以上



本人が一番困惑しています

思い起こせば親が喜寿のころには随分年寄り感覚だった気がします

ところがいざ自分がその場になったらちっとも年寄りなんて思っていない

50代と気持ちはちっとも変わっていません、だけど世間は充分年寄りと思っている

んですね、その証拠にテレビ等で事故を起こした70代を見ると、自分のことを

忘れてそんな年でウロウロしているからなんて注意したくなりますからね

病院にも複数行く様になりました、後期高齢者に医療費が掛かるのは現実なんですね

あんなに好きだったゴルフも打ちっぱなし行っただけで腰が痛くなって結局コースに

出る前に欠席の通知をだしてばかりを繰り返すようになってもうゴルフも出来ない

悟りました

体調も木の芽時になるといつも腸に不調をきたす様になりました、サプリや医者薬

で何とか持っています、ゴルフを止めたことによっけいかに無趣味だったかと痛感し

何か対策を模索している現状です。

青山明雄